

# デーヴォ ガイド



**2025.8.25-31**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合いましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合いましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

## 25日 月曜

### エゼキエル



22:1 次のような【主】のことばが私にあった。

22:2 「人の子よ、あなたはさばくのか。この流血の都をさばくのか。それなら、この都にその忌み嫌うべきわざを残らず告げ知らせて、22:3 このように言え。『【神】である主はこう言われる。自らのただ中で血を流して自分の刑罰の時を招き、自らのために偶像を造って自分を汚す都よ。

22:4 おまえは自分が流した血で咎を負う者となり、自分が造った偶像で身を汚し、自分の目を近づかせ、自分の年を来させた。だから、わたしはおまえを国々のそしりの的とし、すべての国の笑いぐさとする。

22:5 おまえの近くににいる者も遠くにいる者も、名を汚されて大いに混乱したおまえをあざ笑う。

22:6 見よ。イスラエルの君主たちは、おまえの中でそれぞれ力をふるい、人の血を流している。

22:7 おまえの中で父や母は軽んじられ、おまえのただ中で寄留者は抑圧され、おまえの中にいるみなしごやもめは虐げられている。

22:8 おまえはわたしの聖なるものを蔑み、わたしの安息日を汚した。

22:9 おまえの中には、血を流そうと他人を中傷する者がいて、ある者は丘の上で食事をし、おまえのただ中で淫らなことをした。

22:10 おまえの中では父の裸があらわにされ、おまえの中では月のさわりのある女が犯された。

22:11 ある者は隣人の妻と忌み嫌うべきことをし、またある者は淫らなことをして嫁を汚

し、ある者はおまえの中で、自分の父の娘である自分の姉妹を辱めた。

22:12 おまえの中では、血を流すために賄賂が使われ、おまえは利息と高利を取り、隣人を抑圧して利得を貪った。おまえはわたしを忘れた——【神】である主のことば。

22:13 見よ。おまえが得た不正な利得と、おまえの中で流された血のために、わたしは手を打ち鳴らす。

22:14 わたしがおまえをさばく日に、おまえの心は耐えられるだろうか。おまえの手は強くあり得るだろうか。【主】であるわたしが語り、事を行う。

22:15 わたしはおまえを諸国の間に散らし、国々に追い散らし、おまえの汚れをすっきり取り除く。

22:16 国々の民が見ている前で、おまえはおまえ自身によって汚される。そのときおまえは、わたしが【主】であることを知る。』」

エルサレムの罪、すなわちイスラエルの罪が明らかにされます。そしてそれは全人類の罪でもあります。ここでは先ず神様への背きが明らかになれるのですが、それが社会的に、人間的にあらゆる罪につながっているのが分かります。

神様に背くということは、結局自分を神とするのですから、善悪の判断が欲望中心になってしまうことからも当然のことでもあります。偶像礼拝とは単に宗教上のことだけでなく、人間の生き方をを狂わすことになるのです。

私たちは明らかな偶像礼拝をすることはありませんが、神様を無視するようになると、自分の欲望が神ようになってしまうかも知れません。その面からも気をつけなければなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 26日 火曜

### エゼキエル



22:17 次のような【主】のことばが私にあった。

22:18 「人の子よ、イスラエルの家はわたしにとって金かすとなった。彼らはみな、炉の中の青銅、すず、鉄、鉛であり、銀の金かすとなった。」

22:19 それゆえ、【神】である主はこう言われる。「あなたがたはみな金かすとなったから、今、わたしはあなたがたをエルサレムの中に集める。」

22:20 銀、青銅、鉄、鉛、すずが炉の中に集められるのは、火を吹きつけて溶かすためだ。そのように、わたしは怒りと憤りをもってあなたがたを集め、そこにに入れて溶かす。

22:21 わたしがあなたがたを集め、あなたがたに向かって激しい怒りの火を吹きつけると、あなたがたは町の中で溶ける。

22:22 銀が炉の中で溶かされるように、あなたがたも町の中で溶かされる。このとき、あなたがたは、【主】であるわたしがあなたがたの上に憤りを注いだことを知る。」

22:23 次のような【主】のことばが私にあった。

22:24 「人の子よ、この都に言え。『おまえは憤りの日にきよめられず、雨も降らない地である。』

22:25 そのただ中には預言者たちの陰謀がある。彼らは、獲物をかみ裂きながら吼えかける雄獅子のように人々を食らい、富と宝を奪い取り、その町にやもめの数を増やした。

22:26 その祭司たちはわたしのおしえを冒し、わたしの聖なるものを冒し、聖なるものと俗なるものとを分けず、汚れたものと、きよい

ものとの違いを教えなかった。また、彼らはわたしの安息日をないがしろにした。こうして、わたしは彼らの間で汚されている。

22:27 その町の高官たちは、獲物をかみ裂く狼のようだ。人々の血を流し、たましいを滅ぼして、自分の利得を貪っている。

22:28 その町の預言者たちはむなしい幻を見、まやかしの占いをして、漆喰で上塗りをし、【主】が語っていないのに「【神】である主はこう言われる」と言っている。

22:29 民衆も虐げを行い、物をかすめ、窮する人や貧しい人を苦しめ、寄留者を不法に虐げた。

22:30 この地を滅ぼすことがないように、わたしは、この地のために、わたしの前で石垣を築き、破れ口に立つ者を彼らの間に探し求めたが、見つからなかった。

22:31 それで、わたしは彼らの上に激しい憤りを注ぎ、激しい怒りの火で彼らを滅ぼし尽くし、彼らの頭上に彼らの生き方を返した——【神】である主のことば。』」

エルサレムには神に背く者もあれば、中には従う者もあるかも知れませんが、外敵の攻撃ですから全ては同じように危険にさらされるのですが、それを金の精錬にたとえています。火のような苦しみがあっても、金はますます精錬されて純粋で価値が高いものとなり、一方「金かす」は処分されるのです。

その具体的なできごとがここでは悲惨なこととして預言されています。この預言は神様の愛でもあり、神様はイスラエルの民をこのような目に合わせないために警告しておられるのです。

にもかかわらずイスラエルは神様のことばをないがしろにして、自ら悲惨な出来事を招きました。私たちは困難な中にも主に従い、危険の中での精

錬された金のように価値のあるものとされましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 27日 水曜

### エゼキエル



23:1 次のような【主】のことばが私にあった。

23:2 「人の子よ、かつて二人の女がいた。同じ母の娘であった。

23:3 彼女たちはエジプトで淫行をした。若いときに淫行をした。その地で彼女たちの胸を抱きしめられ、その処女の乳房はもてあそばれた。

23:4 その名は、姉はオホラ、妹はオホリバ。二人はわたしのものとなり、息子や娘たちを産んだ。彼女たちの名のオホラはサマリアのこと、オホリバはエルサレムのことである。

23:5 オホラは、わたしのものであったのに、姦通し、その愛人アッシリアに、青い衣を着た軍人たちに欲情を抱いた。

23:6 彼らは総督や長官で、すべて若く魅力的な男たちであり、馬に乗る騎兵であった。

23:7 オホラは彼らと姦通した。彼らはみなアッシリアの選り抜きの者であった。彼女は、自分が欲情を抱いた者たちのすべての偶像で身を汚した。

23:8 彼女はエジプト以来の淫行をやめようとしなかった。それは、彼女が若いとき、エジプト人が彼女と寝て、その処女の乳房をもてあそび、彼女に情欲を注いだからである。

23:9 それでわたしは、彼女が欲情を抱く愛人たちの手、アッシリア人の手に彼女を渡した。

23:10 彼らはオホラの裸をさらけ出し、その息子や娘たちを奪い取り、彼女を剣で殺してしまった。こうして彼女にさばきが下され、彼女は女たちの語りぐさとなった。

23:11 妹のオホリバはこれを見たが、姉よりいっそう恋情を募らせ、その淫行は姉の淫

行よりひどかった。

23:12 彼女は隣のアッシリア人の総督や長官に欲情を抱いた。彼らはみな完全に武装した、馬に乗る騎兵であり、若く魅力的な男たちであった。

23:13 わたしは彼女が身を汚すのを見たが、二人とも同じやり方であった。

23:14 オホリバは淫行を増し加え、壁に彫られた人々に目を留めた。すなわち、朱で描かれているカルデア人の肖像で、

23:15 腰に帯を締め、頭には垂れるほどのターバンを着け、みな士官のように見えた。彼らは、出生地をカルデアとするバビロン人の姿をしていた。

23:16 彼女は一目見て、彼らに欲情を抱き、使者たちをカルデアの彼らのもとに遣わした。

23:17 バビロン人は、彼女のもとに来て愛の床につき、彼女を情欲で汚した。彼女が彼らによって汚れるに及んで、彼女の心は彼らから離れ去った。

23:18 彼女は自分の淫行をさらけ出し、自分の裸をあらわにした。そのためわたしの心は、かつて彼女の姉から離れ去ったように、彼女からも離れ去った。

23:19 しかし彼女は、かつてエジプトの地で淫行をした、あの若かった日々を思い出して、淫行を重ねた。

23:20 彼女は、ろばのようなからだを持ち、馬のような精力を持つ彼らの側女になりたいと憧れた。

23:21 このように、エジプト人があなたの若い乳房をもてあそび、あなたの胸を抱きしめたあの若いときの淫らな行いを、あなたはしきりに望んだのだ。」

北王国の不信仰をオホラ、南王国の不信仰をその妹オホリバにたとえて表現しています。それはまさに愚かな女が愛人を頼って身を滅ぼすようなものであるということです。

人間的な理由や事情があったとしても、私たちは神様のみを信じて頼る、賢い選択を続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 28日 木曜

### エゼキエル



23:22 それゆえ、オホリバよ、【神】である主はこう言われる。「見よ。わたしは、あなたの心がすでに離れ去ったあなたの愛人たちを、あなたに対して駆り立てて、周りからあなたを攻めに来ようにする。

23:23 彼らはバビロン人、すべてのカルデア人、ペコデやショアやコアの人々、それに加えてアッシリアのすべての人々である。すべての若く魅惑的な男たち、総督、長官、士官、名士たち、馬に乗る者たちである。

23:24 彼らは、軍馬、戦車、車をもって、また民の大集団を率いてあなたに立ち向かい、大盾、盾、かぶとを着けて周りからあなたを攻める。わたしが彼らにさばきを委ねるので、彼らは自分たちのさばきにしたがって、あなたをさばく。

23:25 わたしがあなたに、わたしのねたみを向けるので、彼らは激しい憤りをもって、あなたに事を行う。彼らはあなたの鼻と耳を切り取り、残りの者は剣に倒れる。彼らはあなたの息子や娘たちを連れ去り、残りの者は火で焼き尽くされる。

23:26 彼らはあなたの着ている物をはぎ取り、あなたの美しい品々を奪い取る。

23:27 わたしはあなたの淫らな行いと、エジプトの地以来の淫行をやめさせ、あなたが彼らを仰ぎ見ず、もうエジプトを思い出さないようにする。」

23:28 【神】である主はこう言われる。「見よ。わたしは、あなたが憎む者の手、あなたの心が離れ去った者の手にあなたを渡す。

23:29 彼らは憎しみをもってあなたを取り扱う。すなわち、あなたの労苦の実をことごと

く奪い取り、あなたを丸裸のまま捨て去る。こうして、あなたの淫行と淫乱と姦淫の恥は暴かれる。

23:30 これらのことがなされるのは、あなたが異邦の民を慕って姦淫をし、彼らの偶像であなたの身を汚したからである。

23:31 あなたが姉の道を歩んだので、わたしは彼女の杯をあなたの手に渡す。」

23:32 【神】である主はこう言われる。あなたは姉の杯、深くて大きい杯を飲む。物笑いと嘲りがたっぷり入った杯を。

23:33 あなたは酔いと悲しみに満たされる。恐怖と荒廃の杯、これがあなたの姉サマリヤの杯。

23:34 あなたはこれを飲み、飲み干して、杯のかけらまでかみ、自分の乳房をかき裂く。わたしがこれを語ったからだ。——【神】である主のことば。

23:35 それゆえ、【神】である主はこう言われる。「あなたはわたしを忘れ、わたしをあなたのうしろに投げやったから、あなたも自分の淫らな行いと、淫行の責めを負え。」

オホリバに対して、人間社会でもあり得る出来事をで警告を与えています。それは「すでに離れ去ったあなたの愛人たちを、あなたに対して駆り立て、周りからあなたを攻めに来ようにする。」というのです。何と言う悲惨でしょうか。しかしそれは愚かな愛情と依存心から身に受けたことなのです。

それはたとえであって、その主題はイスラエルの愚かさであり、また全人類の愚かさでもありません。それでも神様に立ち返ることなく、またかつての愛人であったエジプトを頼るというように、神様に立ち借ることのない人の、懲りない愚かし

さが表されています。

私たちはすぐに主に立ち返りましょう。主は放蕩息子之父のように、喜んで迎えてください。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 29日 金曜

### エゼキエル

23:36 【主】は私に言われた。「人の子よ、あなたはオホラとオホリバをさばくのか。それなら彼女たちに、その忌み嫌うべきわざを告げ知らせよ。

23:37 彼女たちは姦通し、その手は血に染まっている。彼女たちは自分たちの偶像と姦通し、わたしのために産んだ子どもさえも火の中を通らせ、食物として偶像に引き渡した。

23:38 しかも、彼女たちはわたしに対して、こんなことまでした。同じ日にわたしの聖所を汚し、わたしの安息日を汚したのだ。

23:39 彼女たちは、自分たちの偶像のために自分の子どもを殺し、その同じ日にわたしの聖所に来て、これを冒した。なんと、このようなことをわたしの家の中で行ったのだ。

23:40 さらに、あなたがたは人を送って、遠くから来る人々を招いた。使者が送られて彼らが来ると、あなたは彼らのために身を洗い、目の縁を塗り、飾り物で身を飾り、

23:41 豪華な寝台に横たわり、その前に食卓を整えて、その上にわたしの香と油を置いた。

23:42 そこでは、安逸を貪る群衆の騒ぎがあった。大勢の男たちのところに、荒野から大酒飲みが連れ込まれ、彼らは、彼女たちの腕に腕輪をはめ、頭に輝かしい冠をかぶらせた。

23:43 わたしは、姦通で疲れきった彼女について考えた。彼らは今、その女と姦淫をしている。

23:44 彼らは遊女のもとに行くように、彼女のもとに行った。彼らは、淫らな女たち、オホラとオホリバのもとに行ったのだ、と。

23:45 しかし、正しい人たちは、姦通した女



に下す罰と殺人を犯した女に下す罰で彼女たちをさばく。彼女たちが姦通の者であり、その手が血に染まっているからだ。」

23:46 まことに、【神】である主はこう言われる。「一つの集団を彼らに向けて攻め上らせ、彼女たちを人々にとって、おののきのもと、また餌食とせよ。

23:47 集団は彼女たちを石で打ち殺し、剣で切り倒し、その息子や娘たちを殺し、その家々を火で焼き払う。

23:48 わたしはこの地から淫らな行いを取り除く。すべての女たちは自分自身を戒め、あなたがたがしたような淫らな行いをしなくなる。

23:49 あなたがたの淫らな行いの報いはあなたがたの上を下り、あなたがたは自分たちの偶像に対する罪責を負わなければならない。このとき、あなたがたは、わたしが【神】、主であることを知る。」

オホラとオホリバとは、まさに主に背く人の愚かさを表したものです。そしてそれは愚かさだけではなく、人として外れた行為にまでしてしまうものであることが明らかにされています。

偶像礼拝とはそういう危険性をはらんでいるからです。神を無視して自分勝手な欲望を追及するうちに、人間は恐ろしいことをしてしまうものなのです。戦争も犯罪も、普段は普通の人間が起こすのだということを忘れないようにしましょう。

ですから神様は、ここで神に背くことの恐ろしさと、その報いの恐ろしさをともに明言なさいませ。私たちは主を心の、そして行動の規範にしましょう。主の愛を心に持って、主に喜んで従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 30日 土曜

### エゼキエル



24:1 第九年の第十の月の十日、私に次のような【主】のことばがあった。  
24:2 「人の子よ。この日、ちょうどこの日の日付を書き記せ。ちょうどこの日に、バビロンの王がエルサレムに攻め寄せたからだ。  
24:3 あなたは、反逆の家の一つのたとえを語って言え。『【神】である主はこう言われる。鍋を火にかけよ。これを据え、水をこれに注ぎ入れよ。  
24:4 これに肉片、ももと肩の良い肉片をみな一緒に入れ、選り抜きの骨でこれを満たせ。  
24:5 選り抜きの羊を取れ。鍋の下には薪を積み、よく沸騰させて、その中の骨も煮よ。  
24:6 それゆえ、【神】である主はこう言う。ああ、流血の都、さびついている鍋。そのさびは落とせない。一切れずつそれを取り出せ。くじで決めてはならない。  
24:7 彼女の血は、まだそこにある。彼女はそれを裸岩の上に流し、地面に流して、土をかぶせようとはしなかった。  
24:8 わたしが、憤りを募らせ、復讐するために、その血を裸岩の上に流して、おおわれなようにしたのだ。  
24:9 それゆえ、【神】である主はこう言う。ああ、流血の都。わたしもこれに薪を積み上げよう。  
24:10 薪を増やし、火を燃え立たせ、肉をよく煮、香料を混ぜ、骨を焦がせ。  
24:11 鍋を空にして炭火にかけ、その銅を熱くして、その中の汚れを溶かし、さびがなくなるようにせよ。  
24:12 しかし、その骨折りは無駄であった。そのひどいさびはそれから落ちず、そのさび

は、なお火の中にあった。

24:13 あなたの汚れは淫らな行いだ。それでわたしはあなたをきよめようとしたが、あなたはきよくなろうとしなかった。あなたは、わたしがあなたに対する憤りを収めるまで、自分の汚れから決してきよくならない。

24:14 【主】であるわたしは言った。それは必ず起こる。わたしはそれを行ってなおざりにせず、惜しまず、思い直もしない。あなたの生き方と行いにしたがって、あなたはさばかれる——【神】である主のことば。』」

エゼキエル書はこの章までがイスラエルへのさばきについて、この後32章までは諸国へのさばきについて、そして以降はイスラエルの回復について預言されています。これまでのような主の厳しいさばきがあるのですが、それは回復という愛の希望を見据えてのことなのです。

イスラエルは自分たちは鍋の中にいるようなもので、外からは守られているとたかをくくっていました。しかし神様は「鍋を火にかけよ。」と鍋ごと裁くと言われます。自分勝手な判断で安心して、主から離れてしまうことは愚かなのです。

私たちは常に主の守りがあればこそ生かされているのだということを忘れないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 31日 日曜

### エゼキエル

24:15 次のような【主】のことばが私にあった。

24:16 「人の子よ、見よ、わたしは一打ちで、あなたの目の喜びを取り去る。嘆くな。泣くな。涙を流すな。

24:17 死者のためにうめけ。しかし、喪に服してはならない。頭にターバンを巻き付け、足に履き物をはけ。口ひげをおおってはならない。人々からのパンを食べてはならない。」

24:18 その朝、私は民に語ったが、夕方、私の妻が死んだ。翌朝、私は命じられたとおりにした。

24:19 すると、民は私に尋ねた。「あなたがしているこれらのことは、私たちにとって何を意味するのか、説明してくれませんか。」

24:20 そこで私は彼らに答えた。次のような【主】のことばが私にあった、と。

24:21 「イスラエルの家に言え。『【神】である主はこう言われる。見よ。あなたがたの力の誇りであり、あなたがたの目が喜び、あなたがたの心が大切にするわたしの聖所を、わたしは汚す。あなたがたが見捨てた息子や娘たちは、剣で倒れる。

24:22 あなたがたは、わたしがするとおりにすることになる。あなたがたは自分の口ひげをおおわず、人々からのパンを食べなくなる。

24:23 頭にターバンを巻き、足に履き物をはき、嘆かず泣かない。ただ、自分たちの咎のゆえに朽ち果て、互いに嘆き合うようになる。

24:24 エゼキエルはあなたがたのためのしとなり、彼がしたとおりを、あなたがたもするようになる。このことが起こるとき、あ



なたがたは、わたしが【神】、主であることを知る。』

24:25 人の子よ。彼らが力とするもの、栄えに満ちた喜び、目の喜ぶもの、心に慕うもの、彼らの息子や娘たちを、わたしが取り去る日、

24:26 その日、逃れた者が、この知らせを告げにあなたのもとにやって来る。

24:27 その日、あなたの口は逃れて来た者に開かれ、あなたは語る。もう黙ってはならない。こうして、あなたが彼らのしとなるとき、彼らは、わたしが【主】であることを知る。」

エゼキエルは自分の妻の死をもって、神様のみどころを知り、そして預言しました。「喪に服してはならない。頭にターバンを巻き付け、足に履き物をはけ。口ひげをおおってはならない。」というのは、悲しみを表してはならないということです。

それはすぐにも起こるエルサレムの陥落にさいして、人々が啞然として悲しむ余裕さえないということを表します。このように神様の預言は実体験の苦しみを通してなされたものでもありましょう。それはまさに神様の思いを表すことでもありますから、神様の悲しみが伴った預言でもあるのです。

主の思いを自分自身の思いとしてゆきましょう。また主の思いを感じつつ、主に従い、また主の証し人となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

